

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の分析と考察

今年5月27日、小学6年と中学3年生を対象として、国語と算数・数学の2教科で、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）が実施されました。8月31日に文部科学省からその結果が公表されました。

▼問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545

「兵庫県内の平均正答率は小学6年、中学3年とも算数・数学で全国平均を1ポイント上回りました。一方、国語はいずれも全国平均を1ポイント下回り、自分の考えを文章で表現する力に課題が浮き彫りとなりました。また、同時に行われた生活習慣や学習環境などの調査では、全国と同様にテレビゲームの長時間化がみられました。（神戸新聞より抜粋）」

播磨町教育委員会としても、結果の公表を受けて、播磨町の児童・生徒の結果を分析しましたのでお知らせします。なお、この調査によって測定できる学力は、特定の一部分ではありません。

学習面 基礎基本をしっかりと身につけよう！

【中学校・国語】

問題形式
選択式、短答式、記述式の3種類。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があられるものについて出題。

調査結果
全国平均と同程度である。

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題がみられる
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解することについても課題がみられる
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がみられる

【中学校・数学】

問題形式

選択式、短答式、記述式の3種類。「事柄・事実」「方法・手順」「理由」を記述する問題を出題。

調査結果
全国平均と同程度である。

- ・整数の加法と減法の計算については良好
- ・整数の関係を一元一次方程式で表わす問題についても良好で、具体的な場面でも一元一次方程式を作ることができている
- ・与えられたデータから中央値を求めることは良好
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することについて課題がみられる
- ・相対度数の意味と必要性を理解することについて課題がみられる

【小学校・国語】

問題形式
選択式、短答式、記述式の3種類。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があられるものについて出題。

調査結果
全国平均と同程度である。

- ・スピーチの際に資料を用いた目的を理解することはおおむね良好
- ・目的に応じて文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけることについて課題がみられる
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについて課題がみられる
- ・文の中における主語と述語の関係を抑えることについて課題がみられる

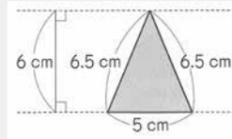
【小学校・算数】

問題形式
選択式、短答式、記述式の3種類。「事実」「方法」「理由」を記述する問題を出題。

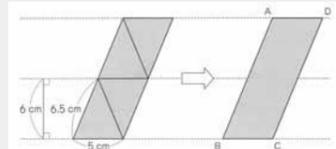
調査結果
全国平均と同程度である。

【小学6年生算数の問題】

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形 ABCD を作りました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形 ABCD の面積を求めます。辺 BC を底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。

また、平行四辺形 ABCD の面積が何cm²になるかも書きましょう。

- ・直角三角形の面積を求める式と答えを書く問題については良好
- ・集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきか判断することは良好
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することやや課題がみられる
- ・複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることにやや課題がみられる

生活面 豊かなこころを育もう！

「やる気」を支えるのは生活習慣です。朝ごはんだけでなく3食をきちんとバランスよく食べることで、頭も体も心もバランスよく成長することができま。また、眠っている間に、体を大きく成長させたり、病気を防ぐ力をつけたり、ストレスを解消させたりします。生活リズムを見直し、計画的に、自分に合った勉強方法で進めていくことで、基礎基本を定着させ、学び続ける姿勢を身につけていきましょう。

学校内での規範意識が高まっている児童生徒が多く、よりよい社会生活を送ろうとしています。学校、家庭、地域社会みんなで子どもたちを褒めたり励ましたりしながら、自尊心を高め、安心して学習に取り組むことができる環境をつくっていきましょう。

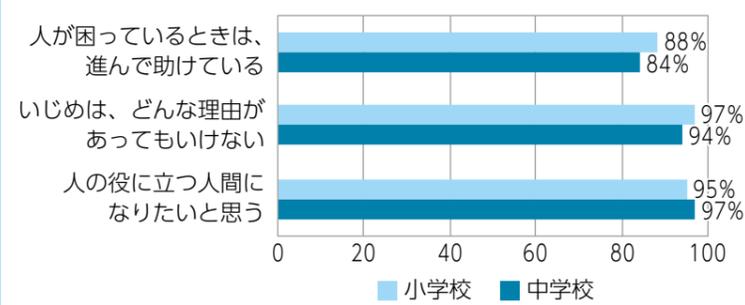
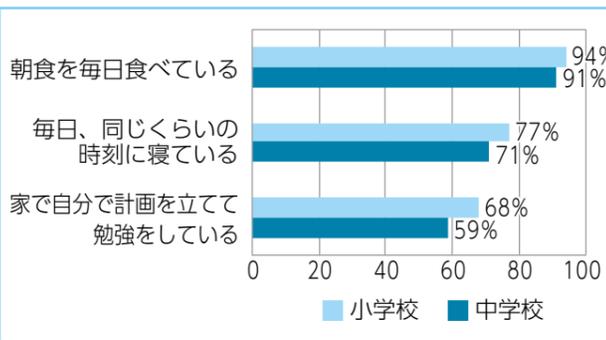
平成29年度と比較すると、1日あたりのゲームをしている時間は、小学校・中学校共に大きく増加しています。

ゲームをする時間を見直し、自主的な学習を計画するなどして、学習習慣を定着させることが大切です。

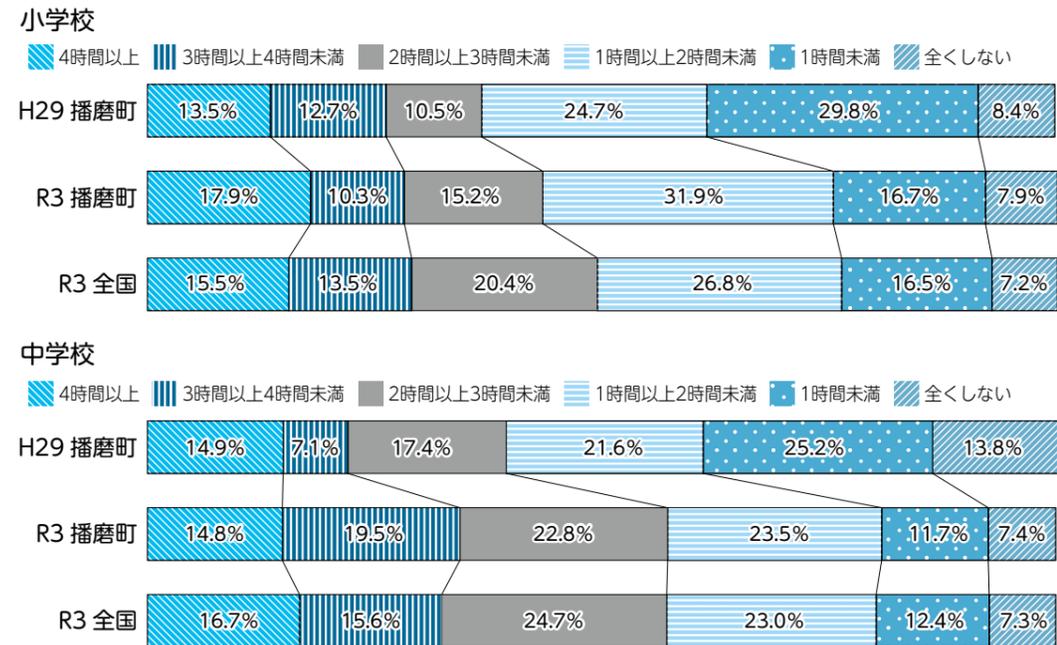
家で過ごす時間が増えている中、ご家庭での過ごし方について、今一度お子様と話し合ってみてください。

まとめ

学校では、今回の調査結果を分析し、学力向上に向けた取り組みを推進します。ご家庭におかれましても、播磨町教育委員会が学校を通じて配布しております「子どもたちのかがやく未来のために―家庭でできること―」を参考にしてください。基本的な生活習慣や規範意識を身につけ、家族の一員としての役割や自覚を持たせ自尊心を育んでいただきたいと思っております。



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



※上記数字は四捨五入したものです。合計が100%に満たないものがあります。

学校はもちろん、家庭そして子どもたちを取り巻く地域の皆さんと一緒に播磨町の未来を担う子どもたちを知・徳・体ともに輝かせていきたいと思います。